

## ダイワ債券コア戦略ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし) 第1期分配金のお知らせ

2016年3月8日

平素は、「ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2016年3月7日に第1期計算期末を迎え、当期の収益分配金を、次のとおりと致しましたことをご報告申し上げます。

2016年3月7日現在

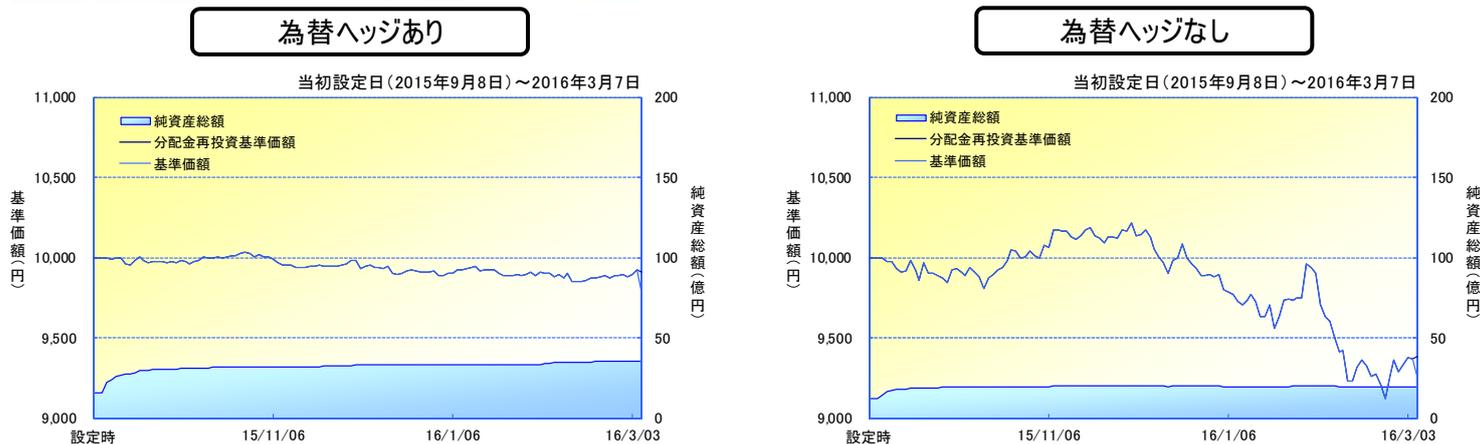
	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
第1期決算 分配金(1万口当たり、税引前)	130円	130円
基準価額	9,781円	9,250円
純資産総額	35億円	19億円

なお、当ファンドの分配方針は以下のとおりとなっています。

- ①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ②原則として、配当等収益等を中心に分配を行なうことをめざします。ただし、基準価額の水準等によっては、売買益(評価益を含みます。)等を中心に分配する場合があります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

### 《基準価額・純資産の推移》



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## 《ファンドマネージャーのコメント》

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

以下のコメントは、グッゲンハイム・パートナーズ・インベストメント・マネジメントLLCが提供するコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

### <市場環境>

(債券市場)

当ファンド設定(2015年9月8日)以降、米国債券市場では、12月に開催されたFOMC(米国連邦公開市場委員会)で政策金利の引き上げが決定されたことなどを受け、短期年限を中心に国債金利が上昇(価格は下落)しました。一方、原油など商品市況の下落や中国をはじめとする主要新興国の景気減速を背景に、世界的な景気後退やインフレ率の低下が懸念される中、中長期年限では国債金利が低下(価格は上昇)しました。

こうした環境下、市場ではリスク回避傾向が強まり、発行体の信用力悪化が懸念視されたハイ・イールド債券やバンクローンなどは、スプレッド(米国国債との利回り格差)の拡大を伴って弱含みました。

ただし、2016年2月中旬以降は、原油など商品市況の下落が一服したことなどから市場のリスク回避姿勢が和らぎ、国債金利が上昇傾向となる一方で、ハイ・イールド債券やバンクローンなどのリスク資産は下落幅を縮める展開となりました。

(為替市場)

当ファンド設定以降、米ドルは対円で下落しました。FRB(米国連邦準備制度理事会)による利上げを織り込む局面や、日銀がマイナス金利の導入を決定した際は、米ドル円相場に対する上昇圧力が高まりました。しかし、中国株や人民元の下落、原油価格の続落などを背景に市場のリスク回避姿勢が強まる中、期を通じて円高圧力が優勢となりました。

### <今後の見通し・運用方針>

中国などの新興国経済や原油価格の先行きに不透明感が強い中、当面は価格変動性の高い市場環境が想定されますが、利上げ開始後の米国債券市場について、イールドカーブのベアフラット化(短期年限中心の金利上昇)が進むとの見方に変わりはありません。こうした環境下、短期年限では金利上昇に備えてABS(資産担保証券)や非政府系RMBS(住宅ローン担保証券)、バンクローンなどの種別で変動金利債の比重を高くする一方、金利上昇が限定的と考えられる長期年限では格付けや利回り面で相対価値が高く、トータルリターンの上向上に寄与する銘柄の選別を重視する戦略が引き続き有効と考えています。

今後の運用に際しては、引き続き米ドル建ての複数種別の債券などに投資することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指す方針です。

以上

## ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

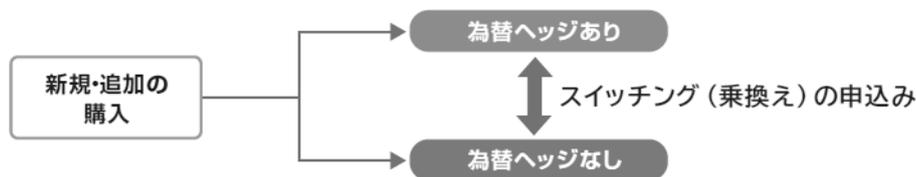
### ファンドの目的・特色

#### ファンドの目的

- 米ドル建ての複数種別の債券等に投資することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。

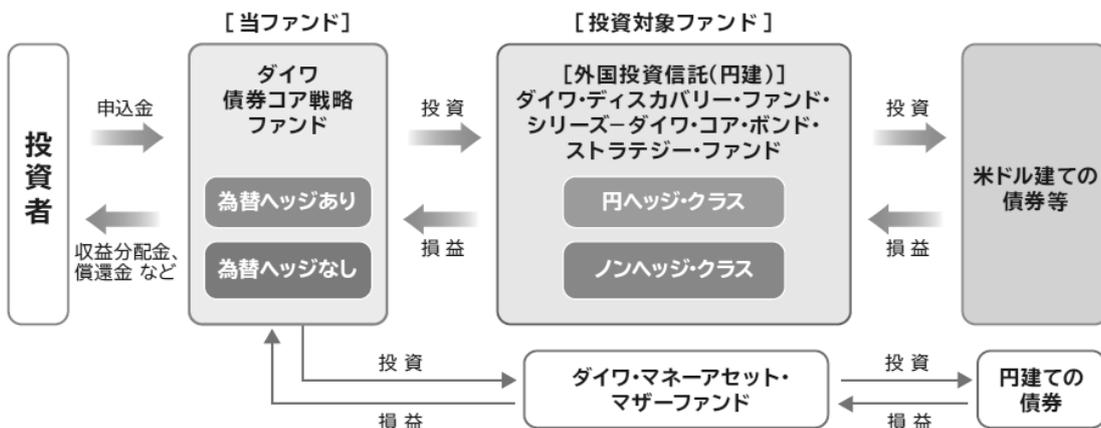
#### ファンドの特色

1. 米ドル建ての複数種別の債券等に投資します。  
※米ドル以外の通貨建資産に投資する場合があります。この場合、原則として実質的に米ドル建てとなるよう為替取引を行いません。
2. 利子収入と値上がり益の適切と考えられる組み合わせにより、トータルリターンを最大化をめざします。
3. 運用は、グッゲンハイム・パートナーズ・インベストメント・マネジメント LLC が行ないます。  
●運用にあたっては、以下の点に留意します。
  - ・マクロ経済分析を活用した投資テーマの発掘および債券等の各種別内の個別銘柄分析による魅力的な銘柄の発掘につとめます。
  - ・各種別間、銘柄間の相対的な価値の分析を活用し、投資対象の評価を行なうことでポートフォリオを構築します。
  - ・投資対象の徹底的な分析を重視することで、特定インデックスの債券等の種別や銘柄にとらわれない運用を行ないます。
4. 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドがあります。  
「為替ヘッジあり」
  - 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。  
※ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
 「為替ヘッジなし」
  - 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。  
※基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。
 <スイッチング(乗換え)について>
  - ◆「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」との間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。



- ◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。  
ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジあり)：為替ヘッジあり  
ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジなし)：為替ヘッジなし
- ◆各ファンドの総称を「ダイワ債券コア戦略ファンド」とします。

5. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
  - ・外国投資信託の受益証券を通じて、米ドル建ての債券等に投資します。



※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

## ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

### 投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（公社債の価格変動・その他の価格変動（資産担保証券、優先証券、バンクローン等の価格変動）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

### ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.24%(税抜3.0%) スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料については、販売会社にお問い合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.215% (税抜 1.125%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
投資対象とする 投資信託証券	「為替ヘッジあり」 年率 0.645%程度 「為替ヘッジなし」 年率 0.615%程度 ただし、この他に「ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ・ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド」全体に対して、固定報酬として年額 10,000 米ドルがかかります。また、監査費用、弁護士費用、有価証券売買委託手数料等、投資対象ファンドの運営に必要な各種経費がかかります。	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	「為替ヘッジあり」 年率 1.860% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) 「為替ヘッジなし」 年率 1.830% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。)	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」に記載しています。

販売会社:

**大和証券**  
Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号  
加入協会 日本証券業協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

**大和投資信託**  
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会